



**GRAND RENEWABLE ENERGY 2018**  
INTERNATIONAL EXHIBITION  
第13回再生可能エネルギー世界展示会(グランド再生可能エネルギー2018国際会議併設展示会)

「第13回再生可能エネルギー世界展示会」いよいよ開催のご案内！

一日程：2018年6月20日(水)～22日(金) 会場：パシフィコ横浜

再生可能エネルギー協議会(代表 黒川浩助/東京農工大名誉教授)は、6月20日(水)～22日(金)パシフィコ横浜において、「第13回再生可能エネルギー世界展示会」を開催します。本展は「再生可能エネルギー世界フェア2018」の一環として、「PVJapan2018」(主催：一般社団法人太陽光発電協会<代表理事 平野敦彦/ソーラーフロンティア(株)社長>)と同時開催します。また本年は、4年毎に開催されます「グランド再生可能エネルギー2018国際会議」(主催：GRE2018国際会議組織委員会<委員長 荻本和彦/東京大学生産技術研究所特任教授>※会期：6月18日～22日)と同時に行われます。これらのイベントを通じ、再生可能エネルギーの最新情報をパシフィコ横浜から発信いたします。展示会の開催規模は出展社200社・団体/来場者30,000名以上の見込みで、普及拡大のカギとなる開発内容などの展示が行われます。GRE2018国際会議では、再生可能エネルギーの技術論文が700件にわたり発表されます。

## 開催概要

### 1) 「第13回再生可能エネルギー世界展示会」概要

- 名称： GRAND RENEWABLE ENERGY 2018 INTERNATIONAL EXHIBITION  
第13回再生可能エネルギー世界展示会(グランド再生可能エネルギー2018国際会議併設展示会)  
<http://www.renewableenergy.jp/2018/index.html>
- 日程： 2018年6月20日(水)～6月22日(金)10:00～17:00
- 会場： パシフィコ横浜
- 主催： 再生可能エネルギー協議会
- 共催： 国際太陽エネルギー学会(ISES)、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、国立研究開発法人産業技術総合研究所(AIST)、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)、公益社団法人日本工学アカデミー(EAJ)、一般財団法人新エネルギー財団(NEF)、一般社団法人日本太陽エネルギー学会(JSES)、一般社団法人日本風力エネルギー学会(JWEA)、一般社団法人海洋エネルギー資源利用推進機構(OEA-J)
- 後援： 経済産業省、環境省、国土交通省、文部科学省、内閣府、神奈川県、横浜市
- 協賛： 関連約80団体
- 特別協力： 公益財団法人高橋産業経済研究財団/フジサンケイビジネスアイ(日本工業新聞社)
- 入場： 無料(国際会議は有料)
- 同時開催： グランド再生可能エネルギー2018国際会議(主催：グランド再生可能エネルギー2018国際会議組織委員会)  
PVJapan2018(主催：一般社団法人太陽光発電協会)

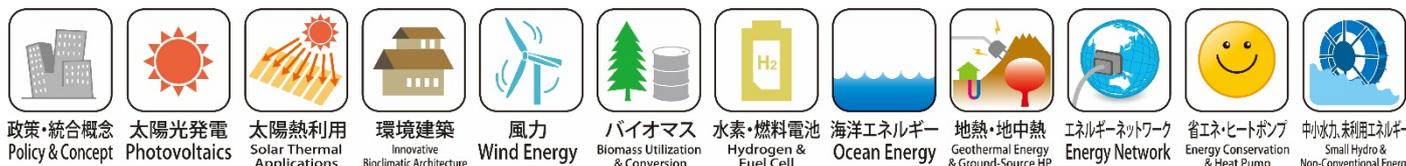
### 2) 「再生可能エネルギー世界フェア2018」オープニングセレモニー

・日時：6月20日(水) 9:40～10:00 ・会場：パシフィコ横浜 展示ホール

### 3) 再生可能エネルギー世界展示会の見どころ

- 1、政策コーナーで、再生可能エネルギーの2030導入計画の詳細と大量導入に向けた政策の要約が省庁から紹介。
- 2、(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構は、再生可能エネルギーの研究開発内容や実証研究成果を紹介。
- 3、(国研)産業技術総合研究所は、福島から再生可能エネルギー先駆けの地の実現を目指し、研究開発の詳細と関連産業の推進を紹介。
- 4、(国研)科学技術振興機構から、低炭素社会の実現に向けた様々な研究開発の推進内容を紹介。
- 5、再生可能エネルギー関連機構・団体・企業などから、普及拡大に向けた技術や適用事例などを紹介。

### 4) 展示会出展対象



エネルギーと環境に関わる企業・団体等が、地球環境保全に貢献する最新の製品・技術・サービス・周辺機器・情報等を出展。



**Grand Renewable Energy 2018 International Conference**  
*Advanced Technology Paths to Global Sustainability*  
日程：6月18日(月)－22日(金) 会場：パシフィコ横浜 会議センター  
<http://www.grand-re2018.org>



## グランド再生可能エネルギー2018 国際会議 概要

**会議テーマ：再生可能エネルギーを1日も早く真に社会インフラへと融合させるには？！**

地球温暖化締約を定めたパリ協定 COP21 達成の為に、エネルギー供給の低炭素化、その為の変換、省エネルギー、エネルギー間の融合化・スマート化、を供給側も需要側も進める必要があります。同時に政策的、財政的な戦略、先進先端の技術開発が欠かせない。電気、電子、機械、物理、化学、生物、建築、土木、数学、社会学、システム学、財政学、そしてこれら統合した経営学、すべての学問の知識が必要である。

国際会議において研究者や技術者、更に政策立案者の参加を得て、日頃の成果を発表いただき、一日も早く真に再生可能エネルギーを社会インフラに融合させる事を国際会議の目標とします。12分野それぞれに切り口があり、47 国から集まる研究者、技術者を中心に、これらをキーワードとした一大イベントで知識共有の場でありませう。論文を発表されない方も参加頂き聴講や議論に加わって頂きたいと思ひます。世界展示会も同時開催。

- ・主催：グランド再生可能エネルギー2018 国際会議組織委員会 委員長 荻本和彦（東京大学生産技術研究所 特任教授）
- ・共催：JCRE、ISES、NEDO、AIST、JST、EAJ、NEF、JSES、JWEA、OEA-J
- ・協賛：日本機械学会、電気学会、日本電機工業会、太陽光発電協会など 約80団体
- ・後援：経済産業省、環境省、国土交通省、文部科学省、内閣府、神奈川県、横浜市
- ・主要題目 12分野
  - ①政策・統合概念、②太陽光発電、③太陽熱利用、④環境建築、⑤風力、⑥バイオマス、⑦水素・燃料電池、⑧海洋エネルギー、⑨地熱・地中熱、⑩エネルギーネットワーク、⑪省エネ・ヒートポンプ、⑫中小水力・未利用エネルギー
- ・参加予定国：47 国、会議時使用言語 英語（ポスター発表もあり、英語不得意な方も発表可能）
- ・参加登録費：共催・協賛団体会員 50,000 円、学生 15,000 円、一般 60,000 円、バンケット 5,000 円。

### 1、「グランド再生可能エネルギー2018 国際会議」開会式と基調講演

- ・日時：6月18日(月)13:00～17:30 会場：パシフィコ横浜 会議センター
- 1) 主催挨拶 GRE2018 国際会議組織委員会委員長 荻本 和彦  
国際太陽エネルギー学会 会長 Dave Renne 氏
- 2) 来賓挨拶 経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部長 高科 淳 氏
- 3) 基調講演

	<p><b>Martin Keller, Ph.D.</b> 米国、米国エネルギー省の直轄機関 国立再生可能エネルギー研究所 (NREL) Director で、Sustainable Energy, LLC(DOE 機関)の会長も 務める。</p>		<p><b>Hiroaki Ishizuka, Mr.</b> 理事長 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 NEDO 日本最大級の公的研究開発マネジメント機関として、「エネルギー・地球環境問題の解決」と「産業技術力の強化」の二つのミッションを掲げて技術開発・実証に取り組んでいます。</p>	<p><b>米国・ドイツ・中国・日本、そして国際エネルギー機関(IEA)のトップクラスの方々に、基調講演とパネルディスカッションで世界の最新エネルギー情勢について、語って頂き情報発信を行います。</b></p>
	<p><b>Hans-Martin Henning, Prof. &amp; Dr.</b> ドイツ、Solar Energy Systems を研究するフランクフルター研究所 Director で、Freiburg 大学で Sustainable System Engineering を主宰し教授も兼務する。</p>		<p><b>Paolo Frankl, Ph.D.</b> 国際エネルギー機関 (IEA) の再生可能エネルギー部門長。EU PVSEC や German Research Center のボードも務める。再エネ分野で 20 年以上の経験。IEA の前はローマ大学やフロレンス大学で教職にあった。</p>	
	<p><b>Li Junfeng, Mr.</b> 中国、国立気候変動戦略研究所の Director General で、中国国家開発変革委員会のエネルギー研究分野の Deputy Director も務める。世界風力会議や REN21 でも要職を兼ねる。</p>			

2、招待講演（6月19日～22日会議棟 講演者15名）

技術革新に影響をもつ専門家を世界的見地から招待。論文発表が行われる全分野を網羅しており、連日講演が行われます。

 <p><b>分野1: 政策・統合概念</b> Paolo Frankl, Ph.D. イタリア パリに本部を置くIEAの再生可能エネルギー部門のトップ。前出の基調講演も兼ねる。</p>	 <p><b>分野2: 太陽光発電</b> Sarah Kurtz, Ph.D. 米国ハーバード大学の博士号をもち、RELで30年以上各種太陽光発電の研究に従事。多くの賞を受賞。2018年からカリフォルニア大学執行役も兼務する予定。</p>	 <p><b>分野2: 太陽光発電</b> Sang Il Seok, Distinguished Prof. Dr. 韓国蔚山国立工業大学 名誉教授。米国、英国、 スイスでも教授を務める。 有機太陽やペロブスカイトの第1人者。</p>
 <p><b>分野3: 太陽熱利用</b> WANG Ruzhu, Prof. Dr. 中国上海交通大学主席教授。中国冷凍協会副会長。Solar H &amp; C、Green Energy System など Heat Pump の専門家でもある。</p>	 <p><b>分野4: 環境建築</b> SangCinzia Abbate, Prof. イタリア建築家。テンブル大学ローマの教授で、IEA 環境建築部門のイタリア代表。ローマにある米国アカデミーの建築アドバイザー兼務。</p>	 <p><b>分野5: 風力</b> Hannele Holttinen, Ph.D. フィンランド工業技術院 主席研究官、IEA WIND Task25 議長。各種の欧州 Wind Energy Platforms で著名、活躍中である。</p>
 <p><b>分野5: 風力</b> Chin-Cheng Huang, Dr. 台湾国家プログラムである 洋上風力発電設置の研究 開発リーダー。台風・地震に 耐えうる設備研究。原子力 力行政研究所 (INER) の Director</p>	 <p><b>分野6: バイオマス</b> Andrea Kruse, Prof. Dr. ドイツホーヘンハイム大学 農業工学主宰教授、 hydrothermal biomass conversion について研究。 バイオマスからカーボン 材料生産、algae プロセス の研究開発など多彩。</p>	 <p><b>分野7: 水素・燃料電池</b> Koji Nakazawa, Mr. (株)本田技術研究所 R&amp;D センターエネルギー マネジメントプロジェクト 主任研究員。燃料電池自動 車の開発、スマート水素ステ ーションのシステム開発で中 心的な役割を担ってきた</p>
 <p><b>分野8: 海洋エネルギー</b> Henry Jeffrey, Mr. 英国 IEA Ocean Energy Initiative の副委員長で 英国代表。波力発電で有名 な Wavegen 社での開発や、 国家プロジェクトにも関わり、 エジンバラ大学で教鞭をとる。</p>	 <p><b>分野9: 地熱・地中熱</b> Juliet Newson, Ph.D. アイスランド 2013年から2016年の国際 地熱学会会長。2016年11 月からアイスランド Reykjavik 大学の Director に就任。その 前はニュージーランドのオー 克蘭ド大学で教鞭をとる。</p>	 <p><b>分野9: 地熱・地中熱</b> Tae Jong Lee, Dr. 韓国 韓国地質資源研究 院の地熱探査専門官。深層 での電磁式手法の探査で有名。 地中熱ヒートポンプシステム についても研究。IEA 地熱部 門の韓国代表でもある。</p>
 <p><b>分野10: エネルギーネットワーク</b> Aranya Chakraborty Associate Prof. Dr. 米国ノースカロライナ州立 大学准教授、同期位相を駆使 した広域遠隔制御や監視技術 が専門で、東工大、大阪府大 でも客員研究者として活躍。</p>	 <p><b>分野11: 省エネ・ヒートポンプ</b> Marek Miara, Ph.D. ドイツ フランホーファー研究所で ヒートポンプの研究に従事。 効率向上と評価について研究。 IEA の同活動に対しても中 心的に活動中。</p>	 <p><b>分野12: 中小水力・未利用エネルギー</b> Young-Do Choi, Ass. Prof. Dr. 韓国 国立木浦(Mokpo)大学 准教授。流体機械、特に水 力、風力、海洋などのター ビン開発を研究。横浜国大 で博士号取得。</p>

◆ グランド再生可能エネルギー国際会議 推移

会期	会場	参加者数	論文発表	委員長名
2006年10月9日～10月13日	幕張メッセ	55カ国/1,063名	641件	黒川浩助
2010年6月27日～7月2日	パシフィック横浜	66カ国/1,359名	887件	柏木孝夫
2014年7月27日～8月1日	東京ビッグサイト	48ヶ国/1,357名	975件	山地憲治
2018年6月18日～6月22日	パシフィック横浜	(予定)47カ国/1,200名	(予定)700件	荻本和彦

3、会期スケジュール表

6月18日 (月)	6月19日 (火)	6月20日 (水)	6月21日 (木)	6月22日 (金)	6月23日 (土)
	特別セッション				
	招待者講演				
	論文 オーラル発表 (12分野)				閉会式
参加 登録	論文 ポスター発表				テクニカル ツアー 1日コース
	国際ワークショップ・会議				
	ワークショップ、フォーラム、イベント				
		国際会議 バンケット			
		第 13 回再生可能エネルギー世界展示会 (再生可能エネルギー協議会主催)			
		PVJapan 2018 展示会&フォーラム (太陽光発電協会主催)			

4、グランド再生可能エネルギー2018 国際会議 組織委員会

《組織委員会》

委員長 荻本 和彦 東京大学生産技術研究所 エネルギー工学連携研究センター 特任教授  
 委員長代行 大和田野芳郎 国立研究開発法人産業技術総合研究所 名誉リサーチャー  
 名誉委員長 黒川 浩助 特定非営利活動法人再生可能エネルギー協議会 理事長、RE2006組織委員長、RE2010・GRE2014 共同組織委員長

副委員長 神本 正行 弘前大学 学長特別補佐  
 木下 健 長崎総合科学大学 学長  
 瀬川 浩司 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻 教授  
 佐藤 嘉晃 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 理事  
 伊藤 隆一 一般財団法人新エネルギー財団 業務執行理事

《特別顧問》

RE2010 組織委員長 柏木 孝夫 東京工業大学特命教授、AES センター長  
 GRE2014 組織委員長 山地 憲治 公益財団法人地球環境産業技術研究機構 理事・研究所長

《諮問委員会》

共同委員長 牛山 泉 足利工業大学 理事長  
 共同委員長 Dave Renne 国際太陽エネルギー学会 会長  
 小長井 誠 東京都市大学総合研究所 教授  
 堂免 一成 東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻 教授  
 山口 真史 豊田工業大学 シニアスカラ

《プログラム委員会》

共同委員長 近藤 道雄 国立研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所 上席イノベーションコーディネーター  
 石原 孟 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授  
 中岩 勝 国立研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所 所長

※上記委員をはじめ国内外の再生可能エネルギー関係者約 500 名で構成

【お問い合わせ先】

- 展示会事務局 再生可能エネルギー世界展示会 事務局 株式会社シー・エヌ・ティ  
 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-24-3 FORECAST 神田須田町 4F  
 Tel. 03-5297-8855 Fax. 03-5294-0909 E-mail: info@renewableenergy.jp
- 国際会議登録事務局 グランド再生可能エネルギー2018 国際会議 事務局 日本コンベンションサービス株式会社(内)  
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル  
 Tel. 03-3502-6871 Fax. 03-3508-1710 E-mail: grand-re2018.sec@grand-re2018.org
- 国際会議運営事務局 特定非営利活動法人 再生可能エネルギー協議会  
 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-24-3 FORECAST 神田須田町 4F  
 Tel. 03-5294-3888 Fax. 03-5294-0909 E-mail: renewableenergy@renewabruenergy.jp